

第35回環境システム研究論文発表会：論文投稿方法・作成要領、原稿の提出方法についてのお知らせ

土木学会誌2007年1月号会告でお知らせしていますが、土木学会環境システム委員会では第35回環境システム研究論文発表会を開催いたします。論文募集にあたり、今回より全文審査部門論文は、投稿方法が変更となります。下記の論文投稿方法・作成要領、論文原稿の提出方法について熟読の上、ふるって論文をご応募ください。

1. 第35回環境システム研究論文発表会の概要

主 催：土木学会（担当：環境システム委員会）

開催期日：2007年10月13日〔土〕・14日〔日〕

場 所：武蔵工業大学（東京世田谷区）

研究対象の課題：

環境を人および人の生活する社会との関連のもとでシステムとしてとらえ、学問としての体系化を図るとともに、社会と環境の基礎づくりをシステム面から実現させていくところに重点をおいた研究や提案、実践報告を幅広く受け付けます。環境原論、環境倫理、環境計画、環境構造、環境動態、環境保全、環境評価、地域環境、地球環境、社会環境システムと環境、支援手法、住民意識、環境教育などを含みます。

発表部門：

- (1) 全文審査部門： 本論文を応募時に提出し、委員会の審査に基づいて受理された日本語または英語で書かれた論文。環境システム研究としての独創性、論理性、有用性に富み、現段階での研究水準を内外に示しうるレベルのもの。なお、審査基準に達しないと委員会が判断したものは、アブストラクト審査部門として再提出することも可能です。また環境システムの理念・分析の枠組み、対策手法、政策などについて新しい問題提起や提案を行い、その意義、有効性や今後の発展方向などについて論じる論文（以下「提案型論文」と略記）についても積極的に募集いたします。提案型論文はその主旨にふさわしい基準で審査を行います。
- (2) アブストラクト審査部門： アブストラクトを応募時に提出し、委員会の審査に基づいて受理された日本語または英語で書かれた論文・報告。環境システム研究としての斬新な提案、研究調査などのケーススタディ、完成途中にあるものなど。技術や社会的取組みについての実践事例報告なども積極的にご投稿ください。

セッション企画募集：

複数の論文の応募を事前に自ら企画し、一つのセッションを設けるセッション企画を歓迎いたします。例えば、第33回（2005年）には「循環型社会と環境会計」の企画セッションを設けました。地域に密着した企画も歓迎いたします。セッション企画を希望される場合は、セッション名、目的および提出予定の論文等の題目、発表者、所属、ページ数などを**3月12日〔月〕**までに土木学会事務局に送付して下さい。なお、企画および企画セッションへの提出論文等の採否は、環境システム委員会にご一任下さい。

口頭発表、ポスター発表の希望の形式を論文あるいはアブストラクト提出時に発表申

込要領に従って明記して下さい。なお、発表形式の最終決定は委員会にご一任下さい。
なお、全部門を通じてお一人の方が登壇できるのは原則として一度に限ります。

2. 論文の投稿方法・作成要領、論文の原稿提出方法

2.1 全文審査部門：

(1) 論文の投稿方法

今回より、環境システム委員会ホームページから、論文投稿申込と論文原稿提出を同時に行うようにしました。ホームページ画面の指示に従いながら投稿することができますが、予め手順の詳細について確認したい場合は、環境システム委員会ホームページ <<http://www.jsce.or.jp/committee/envsys/>>にある、投稿手順説明書を参考にしてください。

以下、投稿手順の概要です。

環境システム委員会ホームページ <<http://www.jsce.or.jp/committee/envsys/>> にアクセスする。

論文投稿リンクをクリックし、投稿画面（ログイン画面）にする。

ログイン画面： 論文投稿の手順、留意点が記載されていますので、お読みください。

入力画面： 論文の投稿区分、論文題目、著者等の情報を入力してください。

確認画面： 入力した情報を確認してください。

原稿ファイル投稿画面： 著者がpdf形式で予め作成した論文の原稿ファイル(ファイル容量は3MBまで)を画面上で選択して、送付してください。送付が完了すると、原稿ファイル確認のメッセージがでます。

登録内容の確認画面： 登録した情報を確認いただき、著作権の土木学会帰属に関して、同意いただくと、入力は完了です。

完了画面： 提出完了メッセージと登録情報が出力されますので、投稿者は印刷して保管してください。

(2) 論文原稿提出期間：3月19日(月)～4月2日(月)17時まで

提出期限間際ですと、混み合う可能性がありますので、余裕をもって、投稿お願いします。

(3) 論文原稿（審査用論文）の作成要領

審査用論文は、英文100語程度、和文200字程度の要約をつけ、A4用紙サイズで40字×50行程度で入力したものを提出してください。

なお、提案型論文については、a)提案型論文として投稿する主旨をA4用紙サイズで200字程度で記述したものを提出するとともに、b)投稿論文の論文題目、要約(英文、和文)本文のいずれかに提案型論文とした主旨が明記されるよう配慮してください。必要項目が記載されていない論文は受付できませんので、ご注意ください。

提出された論文は環境システム委員会において厳正な査読を行います。審査結果に応じて、受理できないことや論文を修正していただくことがあります。査読者からの指示に基づくものの他は、論文タイトル・著者の修正や変更は認められませんのでご注意ください。

なお、環境システム研究論文の原稿作成要領に従って作成いただくことをお勧めします。作成要領および原稿作成例は、環境システム委員会ホームページ<<http://www.jsce.or.jp/committee/envsys/>>にある原稿作成要領・原稿作成例、または昨年度の「環境システム研究」を参考にしてください。

2.2 アブストラクト審査部門：

アブストラクト審査部門論文の投稿は従前と同様に、電子登録して頂きます。

発表申込（電子登録）申込期間：6月18日（月）～7月2日（月）17時まで
環境システム委員会ホームページ<<http://www.jsce.or.jp/committee/envsys/>>より登録を行ってください。申込後に登録完了通知メールが届きます。

審査用アブストラクトについて

審査用アブストラクトは、800字程度で、研究・報告の概要（目的、方法、得られた結果）を具体的に記載してください。審査結果によっては受理出来ないことがあります。

2.3 論文原稿提出方法

登載を受理された論文は全文審査部門、アブストラクト審査部門ともに9月3日[月] 17:00までに送付いただきます。提出期限に遅れた場合は受理を取り消すこともあります。

・全文審査部門

論文原稿（版下原稿となる印刷物）と書式チェックシート（著者用）を「4. 申込み・連絡先」まで郵送あるいは宅配便で送付してください。また、論文原稿のpdfはホームページ画面から送付してください。

・アブストラクト部門

論文原稿（版下原稿となる印刷物）論文原稿のpdfファイル（CDROM等のメディア）と書式チェックシート（著者用）を「4. 申込み・連絡先」まで郵送あるいは宅配便で送付してください。

3. 表彰

優秀論文賞、奨励論文賞、優秀論文発表賞の表彰をおこなっています。詳細はホームページ等で案内します。

4. 申込み・連絡先：

土木学会環境システム委員会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地

TEL 03-3355-3559 / FAX 03-5379-0125

E-mail : ssk@jsce.or.jp

事務局担当：佐々木

環境システム委員会ホームページ：<http://www.jsce.or.jp/committee/envsys/>